

## 第二章 死亡リスク

1982年4月1日時点で①グループに属していた者6221人に限定して、その死亡率を大阪府一般住民における死亡率および日本全国一般住民における死亡率（性・5年毎年年齢階級・5年毎年代別）と比較した（表8～10）。

### 1. 方法

ひかり協会は、死亡者について可能な限りその死因を把握することに努めている。死亡診断書の写しを入手し、死因を判定した。死亡診断書が入手できなかった者については、ひかり協会が把握した死因に関連する情報を総合して死因を判定した。

1982年4月1日時点で①グループに属していた1953年以降の出生者での死亡率を一般人口での死亡率と比較するため、1982年4月1日を観察開始日とし、2015年12月31日までに死亡した者はその死亡日を、②-⑤グループへ異動した者は異動日を、それ以外の者は2015年12月31日を観察終了日として観察期間（person-year）を求め、それに一般人口での、性、年齢階級（5 year）、暦年（5 year）別の死因別死亡率を乗じ、その総和として期待死亡数（E）を計算し、実測死亡数（O）と比較した。

大阪府と日本全国では、人口動態統計が提供している性・年齢階級・暦年別の死亡率の死因データの項目に違いがある。日本全国については、「結核、悪性新生物、糖尿病、心疾患（高血圧性疾患を含む）、脳血管疾患、肺炎、慢性気管支炎、喘息、胃潰瘍、肝疾患、腎不全、老衰、不慮の事故、交通事故、自殺」の項目については利用できる形で死亡

率データが提供されている。「悪性新生物、心疾患（高血圧性疾患を含む）、脳血管疾患、肺炎、交通事故、自殺」について分析した。

統計解析にはSAS<sup>®</sup> 9.2（SAS Institute Inc.）とそのマクロプログラム%stratify[5]を使用した。

### 2. 結果

表8に、死因別および全死因における実測死亡数（O）と期待死亡数（E）及びその比を示した（表8-1：大阪府の期待値を使用、表8-2：日本全国の期待値を使用）。全死因で見ると、男女合計では実測死亡数469に対し、期待死亡数は415.8（大阪府）および393.7（日本全国）で、O/E比はそれぞれ1.13（0.98-1.17）および1.19（1.03-1.24）であった（日本全国と比較した場合のみ0.05水準で有意）。日本全国と比較して、大阪府一般住民の死亡率はやや高いため、期待死亡数は大阪府のデータを用いた結果の方が高くなっていた。男女別にO/E比をみると、男性で1.05（大阪府）および1.12（日本全国）、女性では1.38（大阪府）および1.42（日本全国）であった（女性でのみ0.05水準で有意）。

死因別にO/E比を求めると、大阪府の期待値を用いた分析では男性、女性および男女合計の「神経系及び感覚器の疾患」、女性および男女合計の「呼吸器系の疾患」、男女合計の「交通事故」において有意に高く、「感染症」において有意に低かった（表8-1:大阪府の期待値）。日本全国の期待値を用いた分析では、死因別のO/E比は「肺炎」が有意に

高く、女性および男女合計の「心疾患（高血圧性疾患を含む）」において有意に高く、交通事故におけるO/E比は1より大きい数値を呈したが、有意ではなかった（表8-2：日本全国の期待値）。

ここまでの分析で、若干の結果の相違は認められるものの、大阪府と日本全国の人口動態統計データを用いた結果の間に大きな傾向の違いを認めなかったため、表9以降の全死亡に関する分析では日本全国の人口動態統計データを用いた結果のみを示す。大阪府のデータを用いても結果は大きく変わらなかった（data not shown）。

表9には、被害者区分別、ひかり手当支給の有無別および全対象者における1982年4月1日からの観察期間（基本的に5年毎）別の実測死亡数（O）と期待死亡数（E）およびその比を示した。全対象者男女合計において観察期間が0-4年、5-9年でのO/E比はそれぞれ1.55、1.51と有意に高く、10-14年では1.11、15-19年で1.45（有意に高い）、20-24年では1.00と、観察期間が10年を超え、20-24年では死亡リスクは1になった。ただし、この20-24年の期間で偶然に死亡率が低かった可能性もあり、25年以上および30年以上では有意ではないが1.13および1.12となっており、今後の変動にも注意を要する。

協会飲用認定被害者においては全対象者よりもリスクが大きい傾向が認められ、特に観察期間が14年以内の期間ではO/E比は有意に高かった。30年以上の期間においても、男女合計でO/E比が1.96（1.18-2.80）と有意に高かった。ここでは1970年代に認定申請した協会飲用認定被害者には健康状態がすでに悪化していた者が多く含まれていた可能性が考え

られた。さらには、30年以上の期間においては被害者ががん等の疾病の好発年齢になることから、高齢化との相互作用についても考察する必要があるかもしれない。

1995-96年時点におけるひかり手当支給の有無別にみると、全対象者でみた場合にO/E比が1に近い20年以降の期間であっても、調整手当受給者および生活手当受給者ともに有意に高いO/E比が観察された（1995年以前の期間を含む14年までのカテゴリーは分析から除外した）。

ひかり手当支給の有無別にみた1997年4月から2015年12月の間に観察された死因の分布を表10に示した。1997年から2015年の間に死亡した障害のある被害者（生活手当もしくは調整手当の受給者）における死因のうち、障害のない被害者（手当の対象外）と比較して割合が高かったのは、「神経系および感覚器の疾患」（対象外、調整手当、生活手当の順に0人0.0%、3人5.7%、8人9.5%；%は各グループの、ずっと①グループに属していた者における1997年4月から2015年12月までの間に観察された死因全ての中に占める割合）、「肺炎」（同順に3人1.3%、3人5.7%、15人17.9%）であった。「神経系および感覚器の疾患」を死因とした11人の死因情報をみると、6人に脳性麻痺、2人にてんかん、1人に筋萎縮性側索硬化症、1人に重症筋無力症、1人に中耳炎からの敗血症が認められた。

表11では、就労状況および喫煙状況別に1982年4月1日からの観察期間（5年毎）別の実測死亡数（O）と期待死亡数（E）およびその比を示した。喫煙では調査時期に関連して0-4年は除外した。特に就労者以外の男性および男女合計において死亡リスクが高

く、観察期間が0-4年でのO/E比はそれぞれ3.80、2.39、5-9年では4.53、2.40、10-14年で3.85、1.99、15-19年で3.41、2.05であった。観察期間30年以上においても就労者以外の男性および男女合計ではO/E比が有意に高かった。一方、喫煙状況別には特に喫煙女性で高い値が認められたが、サンプル数が少ないこともあり、25-29年の期間においてのみ有意差が認められた。

表8-1. 実測死亡数 (O) と期待死亡数 (E) の比較 (1953年以降出生の1982年4月1日時点に①グループに属していた者) : 大阪府の人口動態調査データにて期待値を計算

死因	男性 (107732 person-years)			女性 (67596 person-years)			合計 (175328 person-years)		
	O	E	O/E	O	E	O/E	O	E	O/E
悪性新生物	106	108.1	0.98 (0.76-1.13)	57	50.1	1.14 (0.82-1.40)	163	158.2	1.03 (0.83-1.14)
胃がん	21	19.6	1.07 (0.63-1.56)	8	7.3	1.09 (0.45-2.04)	29	26.9	1.08 (0.69-1.47)
肝がん	19	14.5	1.31 (0.75-1.94)	2	1.5	1.33 (0.15-4.55)	21	16.0	1.31 (0.77-1.90)
肺がん	23	21.0	1.10 (0.66-1.56)	5	4.5	1.10 (0.34-2.45)	28	25.5	1.10 (0.69-1.51)
感染症	1	8.4	<b>0.12 (0.00-0.63)</b>	0	1.9	0.00 (0.00-1.82)	1	10.3	<b>0.10 (0.00-0.51)</b>
内分泌、栄養および代謝障害	5	6.6	0.75 (0.23-1.67)	3	1.3	2.22 (0.44-6.17)	8	8.0	1.00 (0.41-1.88)
精神障害	1	1.1	0.92 (0.02-4.89)	0	0.2	0.00 (0.00-16.93)	1	1.3	0.78 (0.02-4.11)
神経系および感覚器の疾患	12	3.4	<b>3.48 (1.71-5.78)</b>	7	1.6	<b>4.45 (1.70-8.72)</b>	19	5.0	<b>3.79 (2.17-5.62)</b>
循環器系の疾患	76	72.6	1.05 (0.78-1.24)	23	15.2	1.52 (0.91-2.16)	99	87.8	1.13 (0.87-1.30)
脳血管の疾患	21	21.6	0.97 (0.57-1.41)	8	5.5	1.47 (0.60-2.75)	29	27.1	1.07 (0.68-1.46)
呼吸器系の疾患	21	13.7	1.53 (0.90-2.22)	8	3.2	<b>2.51 (1.03-4.71)</b>	29	16.9	<b>1.72 (1.09-2.34)</b>
消化器系の疾患	18	25.7	0.70 (0.39-1.05)	3	3.6	0.84 (0.16-2.34)	21	29.3	0.72 (0.42-1.04)
肝硬変	10	15.3	0.65 (0.30-1.14)	2	1.6	1.21 (0.14-4.17)	12	16.9	0.71 (0.35-1.18)
皮膚および皮下組織の疾患	0	0.1	0.00 (0.00-26.96)	1	0.1	15.38 (0.37-81.43)	1	0.2	5.13 (0.12-27.14)
筋骨格系および結合組織の疾患	1	0.7	1.41 (0.03-7.48)	2	0.7	2.67 (0.31-9.16)	3	1.5	2.06 (0.40-5.72)
先天異常	1	0.5	1.99 (0.05-10.52)	0	0.2	0.00 (0.00-14.25)	1	0.8	1.33 (0.03-7.06)
損傷および中毒	66	67.0	0.98 (0.72-1.19)	17	13.6	1.25 (0.69-1.90)	83	80.6	1.03 (0.78-1.21)
交通事故	14	8.9	1.57 (0.82-2.50)	4	1.2	3.39 (0.88-8.26)	18	10.1	<b>1.78 (1.00-2.68)</b>
自殺	29	39.4	0.74 (0.47-1.00)	9	8.8	1.03 (0.45-1.85)	38	48.2	0.79 (0.53-1.03)
全死因	336	319.7	1.05 (0.89-1.11)	133	96.1	<b>1.38 (1.10-1.56)</b>	469	415.8	1.13 (0.98-1.17)

Bold =  $p < 0.05$

表8-2. 実測死亡数 (O) と期待死亡数 (E) の比較 (1953年以降出生の1982年4月1日時点に①グループに属していた者) : 日本の人口動態調査データにて期待値を計算

死因	男性 (107732 person-years)			女性 (67596 person-years)			合計 (175328 person-years)		
	O	E	O/E	O	E	O/E	O	E	O/E
悪性新生物	106	97.8	1.08 (0.84-1.25)	57	48.4	1.18 (0.85-1.45)	163	146.2	1.12 (0.90-1.23)
胃がん	21	17.7	1.19 (0.70-1.73)	8	7.4	1.09 (0.45-2.04)	29	25.0	1.16 (0.74-1.58)
肝がん	19	12.4	1.53 (0.88-2.27)	2	1.3	1.51 (0.17-5.17)	21	13.7	1.53 (0.90-2.22)
肺がん	23	17.7	1.30 (0.78-1.85)	5	4.2	1.20 (0.37-2.65)	28	21.9	1.28 (0.81-1.76)
心疾患 (高血圧性疾患含む)	55	41.5	1.33 (0.95-1.64)	15	7.5	<b>2.01 (1.07-3.15)</b>	70	48.9	<b>1.43 (1.06-1.72)</b>
脳血管疾患	21	25.4	0.83 (0.49-1.20)	8	7.1	1.13 (0.46-2.11)	29	32.5	0.89 (0.57-1.22)
肺炎	14	6.4	<b>2.18 (1.13-3.48)</b>	7	1.6	<b>4.34 (1.66-8.50)</b>	21	8.0	<b>2.62 (1.54-3.80)</b>
交通事故	14	11.8	1.18 (0.61-1.89)	4	1.9	2.11 (0.55-5.14)	18	13.7	1.31 (0.74-1.97)
自殺	29	38.9	0.75 (0.47-1.02)	9	7.7	1.18 (0.51-2.12)	38	46.5	0.82 (0.55-1.06)
全死因	336	300.4	1.12 (0.95-1.18)	133	93.4	<b>1.42 (1.13-1.60)</b>	469	393.7	<b>1.19 (1.03-1.24)</b>

**Bold**= $p < 0.05$

表9. 1982年4月1日からの期間別にみた実測死亡数(O)と期待死亡数(E)の比較 (1953年以降出生の1982年4月1日時点で①グループに属していた者): 日本全国の人口動態調査データにて期待値を計算

	男性			女性			合計					
	Person-year	O	E	Person-year	O	E	Person-year	O	E			
			O/E						O/E			
全対象者												
0-4年 (1982年4月-1987年3月)	18689	24	17.2	1.39 (0.85-1.97)	11695	12	6.1	1.97 (0.97-3.28)	30384	36	23.3	<b>1.55 (1.03-2.03)</b>
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	17852	29	19.0	1.52 (0.97-2.08)	11035	10	6.9	1.46 (0.66-2.54)	28888	39	25.9	<b>1.51 (1.02-1.96)</b>
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	16538	26	24.8	1.05 (0.65-1.46)	10259	11	8.7	1.26 (0.60-2.14)	26797	37	33.5	1.11 (0.74-1.45)
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	15419	47	36.4	1.29 (0.90-1.63)	9616	23	12.0	<b>1.91 (1.15-2.72)</b>	25035	70	48.4	<b>1.45 (1.07-1.73)</b>
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	14802	56	54.4	1.03 (0.74-1.27)	9323	15	16.8	0.89 (0.47-1.40)	24126	71	71.2	1.00 (0.74-1.19)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	14185	76	75.8	1.00 (0.75-1.19)	9047	35	22.2	<b>1.58 (1.04-2.08)</b>	23232	111	98.0	1.13 (0.89-1.30)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	10246	78	72.8	1.07 (0.80-1.27)	6620	27	20.6	1.31 (0.82-1.81)	16867	105	93.4	1.12 (0.87-1.29)
権認被害者												
0-4年 (1982年4月-1987年3月)	16366	17	15.1	1.13 (0.62-1.72)	10528	8	5.5	1.46 (0.60-2.74)	26894	25	20.5	1.22 (0.75-1.71)
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	15647	19	16.7	1.14 (0.65-1.69)	9933	8	6.2	1.30 (0.53-2.42)	25579	27	22.8	1.18 (0.74-1.63)
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	14436	20	21.6	0.93 (0.54-1.36)	9228	7	7.8	0.89 (0.34-1.75)	23664	27	29.4	0.92 (0.57-1.27)
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	13408	43	31.6	1.36 (0.93-1.74)	8637	21	10.8	<b>1.95 (1.14-2.83)</b>	22044	64	42.4	<b>1.51 (1.10-1.83)</b>
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	12846	45	47.2	0.95 (0.66-1.21)	8370	14	15.1	0.93 (0.48-1.48)	21216	59	62.3	0.95 (0.69-1.16)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	12301	66	65.7	1.00 (0.74-1.21)	8135	29	19.9	1.45 (0.92-1.98)	20436	95	85.6	1.11 (0.85-1.29)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	8899	59	63.2	0.93 (0.68-1.14)	5951	23	18.5	1.24 (0.75-1.77)	14849	82	81.7	1.00 (0.76-1.18)
協会飲用認定被害者												
0-4年 (1982年4月-1987年3月)	2323	7	2.1	<b>3.27 (1.25-6.39)</b>	1167	4	0.6	<b>6.55 (1.69-15.92)</b>	3490	11	2.8	<b>3.99 (1.89-6.79)</b>
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	2206	10	2.4	<b>4.24 (1.93-7.42)</b>	1103	2	0.7	2.88 (0.33-9.90)	3308	12	3.0	<b>3.94 (1.93-6.53)</b>
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	2102	6	3.2	1.90 (0.66-3.92)	1031	4	0.9	<b>4.50 (1.17-10.96)</b>	3133	10	4.1	<b>2.47 (1.12-4.31)</b>
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	2011	4	4.8	0.84 (0.22-2.04)	979	2	1.2	1.61 (0.18-5.51)	2990	6	6.0	1.00 (0.35-2.06)
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	1956	11	7.2	1.53 (0.72-2.59)	953	1	1.7	0.57 (0.01-3.04)	2910	12	9.0	1.34 (0.66-2.22)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	1884	10	10.1	0.99 (0.45-1.73)	912	6	2.3	2.65 (0.93-5.49)	2796	16	12.4	1.29 (0.70-2.00)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	1348	19	9.6	<b>1.98 (1.13-2.94)</b>	670	4	2.1	1.89 (0.49-4.60)	2017	23	11.7	<b>1.96 (1.18-2.80)</b>
ひかり手当対象外 (1995-96年)												
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	13206	30	31.2	0.96 (0.62-1.31)	8237	16	10.3	1.55 (0.84-2.40)	21443	46	41.5	1.11 (0.77-1.41)
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	12679	36	46.6	0.77 (0.51-1.02)	7989	9	14.4	0.63 (0.27-1.13)	20668	45	61.0	<b>0.74 (0.51-0.94)</b>
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	12163	50	65.0	<b>0.77 (0.54-0.96)</b>	7766	19	19.1	1.00 (0.57-1.48)	19929	69	84.0	<b>0.82 (0.61-0.99)</b>
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	8841	49	62.8	<b>0.78 (0.55-0.98)</b>	5713	13	17.8	0.73 (0.37-1.19)	14554	62	80.6	<b>0.77 (0.56-0.94)</b>
調整手当受給者 (1995-96年)												
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	975	7	2.3	<b>3.03 (1.16-5.94)</b>	614	4	0.8	<b>5.22 (1.35-12.69)</b>	1588	11	3.1	<b>3.58 (1.70-6.08)</b>
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	934	9	3.4	<b>2.62 (1.14-4.73)</b>	591	1	1.1	0.94 (0.02-4.97)	1525	10	4.5	<b>2.22 (1.01-3.88)</b>
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	891	8	4.8	1.68 (0.69-3.15)	575	7	1.4	<b>4.96 (1.90-9.72)</b>	1466	15	6.2	<b>2.43 (1.29-3.81)</b>
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	631	13	4.5	<b>2.90 (1.47-4.71)</b>	410	4	1.3	3.14 (0.81-7.63)	1042	17	5.8	<b>2.95 (1.63-4.49)</b>
生活手当受給者 (1995-96年)												
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	1238	10	2.9	<b>3.41 (1.55-5.96)</b>	765	3	1.0	3.10 (0.61-8.60)	2003	13	3.9	<b>3.33 (1.69-5.41)</b>
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	1189	11	4.4	<b>2.51 (1.19-4.27)</b>	744	5	1.4	<b>3.69 (1.14-8.19)</b>	1933	16	5.7	<b>2.79 (1.51-4.30)</b>
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	1131	18	6.1	<b>2.97 (1.67-4.46)</b>	706	9	1.7	<b>5.16 (2.24-9.30)</b>	1838	27	7.8	<b>3.46 (2.17-4.78)</b>
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	773	16	5.5	<b>2.90 (1.57-4.47)</b>	497	10	1.6	<b>6.39 (2.91-11.17)</b>	1271	26	7.1	<b>3.67 (2.28-5.11)</b>

Bold=p<0.05

表10. ひかり手当支給の有無別にみた1997年から2015年に観察された死因の分布 (1953年以降出生の1982年4月1日時点以降死亡時まで①グループに属していた者)

死因	ひかり手当対象外	調整手当受給者	生活手当受給者	合計
	N (%)	N (%)	N (%)	N (%)
悪性新生物	109 (48.9)	19 (35.8)	14 (16.7)	142 (39.4)
神経系および感覚器の疾患	0 (0.0)	3 (5.7)	8 (9.5)	11 (3.1)
循環器系の疾患	50 (22.4)	7 (13.2)	18 (21.4)	75 (20.8)
肺炎	3 (1.3)	3 (5.7)	15 (17.9)	21 (5.8)
交通事故	6 (2.7)	1 (1.9)	1 (1.2)	8 (2.2)
自殺	14 (6.3)	2 (3.8)	2 (2.4)	18 (5.0)
全死因	223 (100.0)	53 (100.0)	84 (100.0)	360 (100.0)

\*ひかり手当に関する情報が得られた1997年以降に観察された死因の分布

表11. 1982年4月1日からの期間別にみた実測死亡数(O)と期待死亡数(E)の比較 (1953年以降出生の1982年4月1日時点に①グループに属していた者): 日本全国の人口動態調査データにて期待値を計算

	男性			女性			合計					
	Person-year	O	E	O/E	Person-year	O	E	O/E	Person-year	O	E	O/E
<b>就労者 (1982-84年)</b>												
0-4年 (1982年4月-1987年3月)	16402	7	15.1	<b>0.46 (0.18-0.91)</b>	2886	2	1.5	1.33 (0.15-4.57)	19288	9	16.6	<b>0.54 (0.24-0.98)</b>
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	15858	18	16.9	1.07 (0.60-1.60)	2763	2	1.7	1.16 (0.13-3.99)	18621	20	18.6	1.07 (0.62-1.58)
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	14712	16	22.0	0.73 (0.39-1.12)	2595	1	2.2	0.45 (0.01-2.40)	17307	17	24.2	0.70 (0.39-1.07)
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	13728	33	32.4	1.02 (0.67-1.36)	2437	10	3.1	<b>3.27 (1.49-5.72)</b>	16165	43	35.4	1.21 (0.83-1.55)
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	13192	45	48.4	0.93 (0.64-1.18)	2346	3	4.2	0.71 (0.14-1.97)	15538	48	52.7	0.91 (0.64-1.15)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	12652	61	67.6	0.90 (0.66-1.10)	2282	7	5.6	1.25 (0.48-2.44)	14934	68	73.2	0.93 (0.69-1.12)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	9173	61	65.1	0.94 (0.68-1.14)	1679	4	5.2	0.76 (0.20-1.86)	10852	65	70.4	0.92 (0.68-1.12)
<b>就労者以外 (1982-84年)</b>												
0-4年 (1982年4月-1987年3月)	1995	7	1.8	<b>3.80 (1.45-7.44)</b>	8551	8	4.4	1.80 (0.74-3.37)	10547	15	6.3	<b>2.39 (1.27-3.74)</b>
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	1859	9	2.0	<b>4.53 (1.97-8.17)</b>	8165	8	5.1	1.57 (0.65-2.95)	10023	17	7.1	<b>2.40 (1.33-3.66)</b>
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	1725	10	2.6	<b>3.85 (1.75-6.72)</b>	7587	8	6.4	1.24 (0.51-2.32)	9312	18	9.0	<b>1.99 (1.12-2.99)</b>
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	1605	13	3.8	<b>3.41 (1.73-5.55)</b>	7104	13	8.9	1.46 (0.74-2.38)	8709	26	12.7	<b>2.05 (1.27-2.85)</b>
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	1530	11	5.6	1.95 (0.92-3.31)	6907	12	12.5	0.96 (0.47-1.60)	8438	23	18.1	1.27 (0.77-1.81)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	1460	14	7.8	1.79 (0.93-2.85)	6896	28	16.4	<b>1.70 (1.08-2.34)</b>	8156	42	24.3	<b>1.73 (1.18-2.22)</b>
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	1026	15	7.3	<b>2.04 (1.09-3.20)</b>	4890	22	15.2	1.44 (0.86-2.08)	5916	37	22.6	<b>1.64 (1.10-2.15)</b>
<b>非喫煙者 (1985-88年)</b>												
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	6550	10	7.0	1.43 (0.65-2.50)	9734	8	6.1	1.32 (0.54-2.47)	16284	18	13.1	1.38 (0.78-2.07)
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	6156	8	9.2	0.87 (0.36-1.62)	9127	10	7.8	1.29 (0.59-2.25)	15283	18	17.0	1.06 (0.60-1.59)
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	5798	16	13.7	1.17 (0.63-1.80)	8550	18	10.7	1.68 (0.95-2.52)	14348	34	24.4	1.39 (0.92-1.85)
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	5601	16	20.6	0.78 (0.42-1.20)	8308	12	15.0	0.80 (0.39-1.33)	13910	28	35.6	0.79 (0.50-1.08)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	5423	23	29.1	0.79 (0.48-1.13)	8085	28	19.9	1.41 (0.89-1.94)	13508	51	48.9	1.04 (0.74-1.30)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	3947	22	28.1	0.78 (0.47-1.12)	5928	24	18.5	1.30 (0.79-1.84)	9875	46	46.6	0.99 (0.69-1.25)
<b>喫煙者 (1985-88年)</b>												
5-9年 (1987年4月-1992年3月)	10604	11	11.3	0.97 (0.46-1.66)	990	1	0.6	1.62 (0.04-8.59)	11594	12	11.9	1.01 (0.49-1.67)
10-14年 (1992年4月-1997年3月)	9960	18	14.9	1.21 (0.68-1.81)	970	1	0.8	1.21 (0.03-6.42)	10930	19	15.7	1.21 (0.69-1.79)
15-19年 (1997年4月-2002年3月)	9298	28	21.9	1.28 (0.81-1.75)	938	4	1.2	3.42 (0.89-8.32)	10237	32	23.1	1.39 (0.90-1.86)
20-24年 (2002年4月-2007年3月)	8923	38	32.7	1.16 (0.78-1.51)	896	3	1.6	1.87 (0.37-5.18)	9820	41	34.3	1.19 (0.81-1.54)
25-29年 (2007年4月-2012年3月)	8521	50	45.4	1.10 (0.78-1.38)	853	7	2.1	<b>3.36 (1.28-6.58)</b>	9374	57	47.5	1.20 (0.86-1.48)
30年以上 (2012年4月-2015年12月)	6128	56	43.4	1.29 (0.93-1.59)	615	2	1.9	1.05 (0.12-3.60)	6742	58	45.3	1.28 (0.92-1.57)

**Bold**= $p < 0.05$